

九州史学会大会次第

オンライン開催

12月13日（日） 研究発表

（午前10時より）

※本年度は、シンポジウム及び西洋史部会は開催されませんのでご注意ください。

<日本史部会>

10:00	中世文書史上の室町時代 ―九州を事例として―	九州大学	佐伯 弘次
10:50	近世朝鮮通信使往来における不慮の事故と客死	志免町立志免中学校/九州大学	吉田 智史
11:40	明治期における法人学説と神社	福岡県立京都高等学校/九州大学	林 義大

<東洋史部会>

10:00	15-16世紀、琉球王国の香薬貿易の一面 ―ブルネイ産龍腦の中継輸出―	九州大学	中島 楽章
10:40	万暦年間、福建・広東境域の海上活動と海防 ―『南澳遊小紀』を主史料として―	九州大学	夏 歆
11:20	18世紀初期、広東東部における海賊活動 ―『華夷変態』所見の潮州海賊を中心に―	九州大学	邢 万里
13:00	第一次世界大戦期のイギリス・中国・チベット関係 ―東チベット境界紛争（1917-1918）を中心に―	九州大学	小林 亮介
13:40	戦間期満洲における文化事業と「日中」関係 ―満蒙文化協会漢語機関紙『東北文化月報』の分析を中心に―	九州大学	池田 直文

<朝鮮学部会>

10:00	高麗中期の道誂の政治利用	京都大学	中村 慎之介
10:45	朝鮮後期における財政補填問題と鑄銭量増加政策 ―純祖朝末から哲宗朝までを中心に―	九州大学	中川 晴貴
11:30	近代における日本赤十字社の朝鮮進出について	九州大学	千 受珉
13:30	「併合」前後の朝鮮における儒教的養子制度をめぐる状況変化 ―閔泳翊（1860-1914）の事例を中心に―	九州大学	田中 美彩都
14:10	崔南善監修『東明』（1922-1923）について	九州大学	田中 美佳
14:55	<朝鮮的なもの>の特殊化と普遍化 ―崔南善の時調復興論と不咸文化論―	福岡大学	柳 忠熙

<イスラム文明学部会>

10:00	スレイマン1世時代におけるオスマン-ハプスブルク関係 —オスマン朝の世界認識の分析を中心に—	九州大学	松倉 宏真
10:40	オスマン帝国第二次立憲政期におけるトルコ-アラブの実情	九州大学	岩倉 一澄
11:20	Mu‘tazilism as a symbol of ‘authentic rationality’ in modern Muslim discourses	ソウル大学	Alena Kulinich
13:30	中世アラブ地域における君臣論にみる意識 パフラヴィー朝の成立と憲法改正論	大阪大学	近藤 久美子
14:10	—イランにおける第一次憲法制定議会（1925）の開催及びその影響—	東京大学	徳永 佳晃
15:00	獵兵大隊：オスマン陸軍における「匪賊討伐」の特殊部隊（1904-1908）	早稲田大学	永島 育
15:40	19世紀のイスタンブールにおけるムフタル制の運用と非ムスリム	大阪市立大学	上野 雅由樹

<考古学部会>

10:00	稲作開始期の日本列島と朝鮮半島における年代論の到達点と課題	岡山理科大学	三阪 一徳
10:50	佐賀県唐津市宇木汲田貝塚の再検討	九州大学	宮本 一夫
11:30	列島西半部の供膳用土器の系譜 —弥生時代前期から中期の高坏を中心に—	奈良県立橿原考古学研究所	川上 洋一
13:10	南関東弥生中期土器の時空間的変遷とその背景 —特に弥生中期中葉から後葉の変化に焦点を当てて—	九州大学	星野 宙也
13:50	出現期須恵器と土師器との関係	愛媛大学	三吉 秀充
14:30	嘉徳盆地・田川盆地における埴輪生産とその背景	福岡市経済観光文化局	三浦 萌
15:20	殷周時代における長江中流域の青銅尊、壺の考察 —系譜関係を中心に—	九州大学	譚 永超
16:00	中国長江中下流域における春秋戦国時代の青銅矛の展開	九州大学	李 寧
16:40	寧夏で発見された塔式罐について	九州大学	楊 萌
17:20	出土品・伝世品の様相からみた近世期の唐物の利用に関する一考察 —陶磁器はどのように扱われたのか—	九州大学	徳留 大輔

〒819-0395 福岡市西区元岡 744 イースト1号館 九州大学文学部九州史学会事務局 電話 092-802-5098
E-mail: shigakkai@lit.kyushu-u.ac.jp <https://kyushushigakkai.org/>